

ブランド&コミュニケーション研究会

日時 2019 年 10 月 20 日（土） 9 時 00 分～10 時 30 分

場所：法政大学

テーマ：ソーシャルメディアとブランドマネジメント

今回は、現代マーケティングにおいて極めて重要な位置を占めているソーシャルメディアに焦点を合わせ、ブランド・マネジメントにどう活用していくかという観点から研究報告会を行いました。はじめに山本晶氏（慶應義塾大学大学院 准教授）ならびに根本陽平氏（株式会社電通パブリックリレーションズ）から、AI を用いたソーシャルメディアの分析について報告が行われました。そこではソーシャルメディアへの書き込みデータを用いて、「ブランド・リレーションシップ」および「ブランド・パーソナリティ」の強度や質を数値化しようとする試みが紹介されました。つづいて、菅野佐織氏（駒澤大学 教授）から自己とブランドの結びつきに関する最近の研究動向について分かりやすいレビューが行われました。さらに久保田進彦（青山学院大学 教授）からソーシャルメディアをブランド・マネジメントに活用する際の課題について、幅広い観点から説明が行われました。3 つの報告に続き、参加メンバーとの質疑応答が行われました。予定時間におさまらないほどの議論が展開され、非常に有意義な研究会となりました。

1. ソーシャルメディア・データを活用したブランド・リレーションシップの測定：
山本晶（慶應義塾大学大学院経営管理研究科 准教授）根本陽平（株式会社電通パブリックリレーションズ コミュニケーションデザイン部 部長）
2. コメント：菅野佐織（駒澤大学 経営学部 教授）
3. コメント：久保田進彦（青山学院大学 経営学部 教授）
4. ディスカッション：報告者と参加者とのディスカッション